

令和4年2月15日

日本小児血液・がん学会  
小児血液・がん研修施設 御中

日本小児血液・がん学会  
理事長 大賀 正一  
専門医制度委員会担当理事 米田 光宏  
担当副理事 滝田 順子  
委員長 今井 千速

日本小児血液・がん学会専門医制度 **研修「施設群」における定期活動**について

平素、本学会専門医制度へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
このたびは、限られた時間で新たな研修制度への申請を行っていただき、ありがとうございます。各施設群における研修プログラムについてご確認いただきたい事項があり、ご連絡いたしました。

認定研修施設（親施設）と関連研修施設（子施設）により「施設群」を形成する場合、**共通の活動内容**を必ず記載していただけるように「研修プログラム案」を提示させていただきましたが、その内容が乏しい施設群がございました。例を挙げると、年1回の既存の地域研究会のみを施設群の活動として指定しているような場合です。委員会としては、以下に記載するような「定期会合」が施設群内で共有されるべきと考えております。この「定期会合」以外に、地域で開催される学会・研究会方式の集まりを施設群共通の活動として挙げておくことは、もちろん構いません。

**【施設群内の定期会合とは】**

- 1). 2か月に1回以上を目安とする。
- 2). 症例の診断や治療方針についての具体的な検討や、専攻医の研修上の問題点、病院間の連携に関わる諸問題を話し合うことを目的とする

研修プログラムが「要再検討」と評価された場合は、事務局より親施設にご連絡を差し上げますので、**施設群の全体で再検討していただき、半年程度を目安に改善をお願いいたします**（研修プログラムを修正された場合は委員会事務局までご提出願います）。この場合でも、他の施設基準をすべて満たしていれば、今回に限って4月1日付で施設認定および施設群認定をいたします。なお、令和4年度の専門医研修施設の現況調査は、例年の5月頃から10月頃にずらして実施することにより、**本件について実地調査を行う予定**です。

審査後にこのような条件設定を追加することにより施設の皆様にご負担をお掛けすることについて、委員会として心からお詫び申し上げます。しかしながら、今回はじめての施設群審査の過程で把握された問題であること、施設群としての実質的な交流の機会を担保することの重要性に鑑み、何卒、ご理解を頂けますようお願い申し上げます。